

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

現在の定時制高校は、これまでの勤労青少年の後期中等教育機関としての役割とともに、全日制高校中途退学者や不登校経験者、学習障がい等がある生徒等、さまざまな学習目的や動機をもつ生徒の学び直しの場として、また、社会人の生涯学習の場としての機能も果たしている。こうした状況を踏まえ、社会の有為な形成者としての基礎を培う全人教育並びに、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性をはぐくむ教育に努め、次のような生徒を育てることをめざす。

- ① さまざまな困難に挫けず、自分なりのスタイルやペースで自己実現をめざす生徒。
- ② 周囲への気配りを忘れず、思いやりのある態度を備えている生徒。
- ③ 互いを認め合い、共に生きることの大切さを理解している生徒。
- ④ 毎日の生活のリズムを乱さない等、基本的な生活習慣が備わっている生徒。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成と教育システムの改善・充実

(1) 「分かる」「できる」「楽しい」を実感させる授業をめざす。さらに、社会で必要とされる生きた学力を身につけられるようにする。

ア 授業内容や指導方法、学習教材を工夫し、生徒の基礎学力を定着させる。

イ 教育課程編成を工夫し、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に対応する。

※生徒向け学校教育自己診断結果における授業に関する質問での肯定率（平成31年度72.4%）を毎年引き上げ、令和4年度には80%以上にする。

平成29年度77.0% 平成30年度69.1% 平成31年度72.4%

2 豊かな人間性を持った生徒の育成と生徒の自己実現の支援

(1) 互いを尊重しあう精神を養う。また、人権感覚を養い、自他の人権を守ることができるようにする。

ア ホームルーム活動や学校行事、部活動を通じて、自主性を高め協調性を育てる。

※生徒向け学校教育自己診断結果における行事に関する質問での肯定率（平成31年度体育祭86%、文化祭87%）を令和4年度も85%以上を維持する。

平成29年度体育祭83%、文化祭83% 平成30年度体育祭77%、文化祭77% 平成31年度体育祭86%、文化祭87%

イ ホームルームや総合的な探求の時間を活用して人権教育を実施し、人権感覚を養う。

(2) 生徒の課題や背景を踏まえ、生徒のサインを的確に捉えて適切な対応を行い、生徒の自己実現を支援する。

ア 家庭との連絡を密にし、基本的な生活習慣を確立させる。

イ 計画的・系統的なキャリア教育を行い、卒業後の進路について考えられるようにする。

ウ 中学校等との連携を強化する。

※生徒向け学校教育自己診断結果における社会のルールに関する質問での肯定率（平成31年度84.9%）を毎年引き上げ、令和4年度には90%以上にする。

平成29年度84.1% 平成30年度80.4% 平成31年度84.9%

※生徒向け学校教育自己診断結果における進路に関する質問での肯定率（平成31年度80.5%）を毎年引き上げ、令和4年度には85%以上にする。

平成29年度84.3% 平成30年度80.6% 平成31年度80.5%

※進学者等を除く卒業生の学校斡旋就職率（平成31年度47.6%）を毎年引き上げ、令和4年度には50%以上にする。

平成29年度40% 平成30年度43.8% 平成31年度47.6%

(3) 学業継続が困難な生徒に積極的働きかけ、課題解決への支援を行い、学校への定着を図る。

ア 中退防止コーディネーターを核とし、組織的に生徒を支援する。

イ S S W等との連携を図り、相談体制を充実する。

※令和4年度には、文部科学省が公表する平成30年度全国公立高等学校定時制課程の中途退学率の9.3%以下を目標とする。

平成29年度12.1% 平成30年度9.6% 平成31年度16.3%

3 学校運営体制の改善・充実と地域とつながる学校づくりの推進

(1) 組織体制の改善・充実を図り、機能的な運営に努める。

ア 校内研修の実施やO J Tにより、教職員の資質を向上させる。

イ 学校運営組織の強化と効率化を図り、勤務時間を縮減する。

※教職員向け学校教育自己診断結果における校務運営に関する質問での肯定率（平成31年度100%）を令和4年度も90%以上を維持する。

平成29年度89.5% 平成30年度95.2% 平成31年度100%

(2) 保護者や中学校、地域等に、教育目標や教育活動について情報提供を行い、地域とつながる学校づくりを推進する。

ア 学校Webページ等を活用し、幅広く積極的な情報提供を行う。

イ 保護者や中学校、地域等との相互理解・相互協力による良好な連携体制の構築を図る。

※保護者向け学校教育自己診断結果における情報提供に関する質問での肯定率（平成31年度85.2%）を毎年引き上げ、令和4年度には90%以上にする。

平成29年度88.9% 平成30年度87.0% 平成31年度85.2%

※保護者向け学校教育自己診断結果における「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」の肯定率（平成31年度70.4%）を毎年引き上げ、令和4年度には75%以上にする。

平成29年度70.0% 平成30年度82.6% 平成31年度70.4%

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と教育システムの改善・充実	<p>(1)「分かる」「できる」「楽しい」を実感させる授業をめざす。</p> <p>ア 生徒の基礎学力の定着</p> <p>イ 生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に対応する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・教育内容の研究・実践を進め、プロジェクトやタブレット端末等、ICTを活用した授業を実施する。</p> <p>・相互授業見学、公開研究授業、研修等を通じて、授業力の向上を図る。</p> <p>イ・生徒の現状を把握し、希望する進路が達成できる教育課程の構築を図る。</p> <p>・定時制通信制教育研究会の活動へ積極的に参加し、情報交換、意見交換を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・生徒向け学校教育自己診断結果におけるICT活用に関する質問での肯定率90%以上を維持する。 (平成31年度91.9%)</p> <p>・授業見学週間、公開授業を実施する。</p> <p>・授業力向上に係る研修を年間3回以上実施する。(平成31年度5回)</p> <p>・授業アンケートにおける「授業に満足している」3.60P以上。 (平成31年度3.47P)</p> <p>・生徒向け学校教育自己診断結果における授業に関する質問での肯定率75%以上。(平成31年度73.4%)</p> <p>イ・新教育課程に向けた協議が実施できたか。</p> <p>・定通教育研究会各部会が主催する研修会や三部合同研修会に参加し、校内で伝達する。研修への教員の参加率30%以上。(平成31年度29.4%)</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 豊かな人間性を持った生徒の育成と生徒の自己実現の支援</p>	<p>(1) 互いを尊重しあう精神を養う。</p> <p>ア 学校行事等を通じて、自主性を高め、協調性を育てる。</p> <p>イ 人権感覚を養う</p> <p>(2) 生徒の自己実現の支援</p> <p>ア 基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>イ 卒業後の進路を考えられるようにする。</p> <p>ウ 中学校等との連携の強化。</p> <p>(3) 学校への定着を図る。</p> <p>ア 組織的に生徒を支援する。</p> <p>イ S S W等との連携を図り、相談体制を充実する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・部活動の充実や支援とともに、部活動体験を充実させ、部活動参加を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に生徒の意見を反映させ、生徒の積極的な参加を促す。 <p>・計画的に人権HRを実施し、互いを尊重し合う精神を養う。</p> <p>(2)</p> <p>ア・家庭との連絡を密にし、学校を休まないような生活習慣を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を集中して受ける姿勢をつくる。 ・禁煙教育、禁煙支援の充実に努める。 <p>イ・計画的・系統的なキャリア教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探求の時間やアルバイトの推奨等を通じて、就労・社会参加意識を醸成する。 <p>ウ・中学校訪問や中高連絡会を通じて、出身中学校等との連携を強化する。</p> <p>(3)</p> <p>ア・中退防止コーディネーターを核とし、全校的に生徒を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退率を低減させる。 <p>イ・S C、S S W等を活用した相談体制を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内に居場所をつくり、中退防止につなげるとともに就労を支援する。 	<p>(1)</p> <p>ア・部活動参加率40%以上を維持する。(平成31年度41%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会交流会やリーダー研修を実施し、生徒会行事の活性化を図る。 ・生徒向け学校教育自己診断結果における行事に関する質問での肯定率85%以上を維持する。(平成31年度体育祭86%、文化祭87%) ・S N S、L G B T等に関する研修を3回以上実施する。 <p>(2)</p> <p>ア・出席率を向上させる。(平成31年度72.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートにおける「授業に集中して取り組んでいる」3.60P以上。(平成31年度3.59P) ・喫煙生徒率5%未満を維持する。(平成31年度3.2%) <p>イ・生徒向け学校教育自己診断結果における進路に関する質問での肯定率82%以上。(平成31年度80.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在校生の就労を70%以上にする。(平成31年度67.3%) ・進学者等を除く卒業生の学校斡旋就職率を50%以上。(平成31年度47.6%) <p>ウ・中学校訪問数30校以上。(平成31年度34校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高連絡会を年4回実施する。(平成31年度4回実施) <p>(3)</p> <p>ア・生徒向け学校教育自己診断結果における満足度に関する質問での肯定率85%を維持する。(平成31年度86.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退率13%未満をめざす。(平成31年度16.3%) <p>イ・S S WやS Cによる研修の開催、及びケース会議を年間30回以上実施する。(平成31年度36回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所となる「春定カフェ」の内容を充実させ、利用者平均25人以上。(平成31年度利用者平均28人) 	
---	---	---	--	--

<p style="text-align: center;">3 学校運営体制の改善・充実と地域とつながる学校づくりの推進</p>	<p>(1) 組織体制の改善・充実を図り、機能的な運営に努める。</p> <p>ア 教職員の資質を向上させる。</p> <p>イ 学校運営組織の強化と効率化。</p> <p>(2) 地域とつながる学校づくりを推進する。</p> <p>ア 積極的な情報提供を行う。</p> <p>イ 相互理解・相互協力による良好な連携体制の構築を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・人権意識を高めるための研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や府の動向、生徒の現状を踏まえ、研修を実施する。 <p>イ・教職員一人ひとりの意識を改革し「働き方改革」を学校全体で推進させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P D C Aサイクルを活用し、校務運営を活性化する。 ・全日制との連携・協力体制を充実させる。 <p>(2)</p> <p>ア・W e b ページによる情報発信の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会等の内容を精査し、学校への理解が深まるように充実させる。 ・地域との交流を推進する。 <p>イ・学校教育自己診断や行事でのアンケートなどで保護者の思いや期待を収集し、学校との協力体制の推進に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の充実に努める。 	<p>(1)</p> <p>ア・人権に関する研修を2回以上実施する。</p> <p>(平成31年度4回実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状に関する研修を2回以上実施する。 (平成31年度2回実施) <p>イ・年間時間外勤務を平均210h以内にする。(平成31年度212h) 2月末予測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員向け学校教育自己診断結果における校務運営に関する質問での肯定率90%以上を維持する。 (平成31年度100%) ・定期的な全定合同連絡会を4回開催する。 (平成31年度4回実施) ・授業見学や救命講習会等への教員の参加者10名以上。 <p>(2)</p> <p>ア・W e b ページで部活動や学校行事等を紹介する。90回以上更新する。</p> <p>(平成31年度100回更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会を年3回実施する。 (平成31年度3回実施) ・地域イベントへの参加生徒率10%以上。 (平成31年度12.1%) <p>イ・保護者向け学校教育自己診断結果における「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」の肯定率75%以上。</p> <p>(平成31年度70.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け学校教育自己診断アンケートの回収率を25%以上にする。 (平成31年度20.9%) ・体育祭、文化祭に来校する保護者、地域住民等の人数を増やす。 (平成31年度体育祭49人、文化祭107人) <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議との更なる連携を図り、意見を教育活動に活かす。
---	---	--	---